

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	男女共同参画推進事業			事業番号	18-101-2
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部	小林 幹夫	福祉総務課	三河 秀行	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり	
		施策展開の方向	2	一人ひとりが大切にされるまちをつくる	
		施策	18	互いに尊重し合うまちづくりの推進	
予算事業名	DV被害者支援費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	義務づけ規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律				
国・県の計画等	かながわDV被害者支援プラン			計画期間	平成21年度～平成25年度
関連個別計画	伊勢原市男女共同参画プラン			計画期間	平成20年度～平成29年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	DV被害者の多くは女性であり、経済的自立が困難である女性に対して配偶者が暴力を加えることは、個人の尊厳を害し、男女共同参画社会基本法がめざす男女共同参画社会の妨げとなっている。さらにその家庭で育つ子どもの心の成長と人格形成に深刻な影響を与える。				
目的 (何をどうしたいのか)	DVを防止するとともに、被害者の相談、安全確保から自立に向けた支援など、被害者への適切な支援を行う。				
主な対象 (誰・何を対象に)	DV被害者				
事業内容 (手段、手法など)	・DV防止に向けた啓発を継続実施するとともに、充実させた相談・支援体制を活用し、相談件数の増加や必要な支援に対応します。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	被害者支援	継続実施	継続実施		
	女性相談員の配置	継続配置	継続配置		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	DVに関する相談件数	370件	390件	410件	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	・DV防止に向けた啓発活動を継続実施するほか、複数の女性相談員(嘱託)により相談体制を強化し、被害者支援の一層の充実を図る。				
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		28年度	29年度		
	被害者支援	継続実施			
	女性相談員の配置	継続配置			
実施した取組の内容	・市広報紙やホームページへの掲載、チラシの配架、市民団体との協働事業「ストップ！DV」運動の実施など、DV防止に向けた啓発活動を行った。 ・DV被害者への支援(相談、安全確保、自立支援)を行った。 ・相談員を2名体制にした。				
	目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
				28年度	29年度
		DVに関する相談件数	370件	347件	

		年度		28年度 実績				29年度 実績					
内訳	事業費合計 (a)		6,091		千円						千円		
	内訳	国県支出金 ①		1,330		千円						千円	
		地方債 ②		0		千円						千円	
		その他特財 ③		0		千円						千円	
		一般財源 (a)-①-②-③		4,761		千円				0		千円	
国県支出金の内容		婦人相談員活動強化事業費補助金 補助率1/2											
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期								
		その他											
人件費	正規職員		0.21	人	1,817	千円		人		千円			
	その他の職員		0	人	0	千円		人		千円			
	人件費合計 (b)		0.21	人	1,817	千円		人		千円			
トータルコスト (a)+(b)				7,908	千円					千円			
単位当たりコスト	対象数	定義	DV相談件数			単位		単位					
		対象数	347			件							
	総事業費 / 対象数	22,790			円		円						

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> ・DV防止に向けた啓発活動を行った。 ・DV被害者への支援として、DV相談、県との連携による被害者の安全確保、自立支援を行った。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・各市とも、専門相談員によるDV相談を行っている。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> ・DV被害者の相談、安全確保、自立に向けた支援など、被害者への適切な支援を行うことができた。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員を2人の体制として適切な支援を行うことができた。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月から女性相談員(嘱託)1人を採用し2人体制としたが、平成29年2月に退職されたため、1人体制に戻ってしまった経緯がある。 ・相談件数の増加はもとより、同一被害者からの複数回相談の割合が増加しているため、相談体制の充実が必要である。
次年度取組方針		<ul style="list-style-type: none"> ・複数の女性相談員により相談体制を強化し、DV被害者支援の一層の充実を図る。 		
所管部長による総評		<ul style="list-style-type: none"> ・DVに関する相談件数は増加傾向にあり、内容も複雑多様化している。 ・継続して複数の女性相談員を配置することにより相談体制の充実を図り、今後の相談内容や件数増加に対応していく必要がある。 		